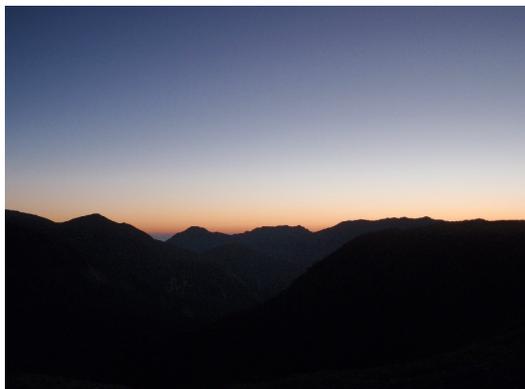


# 雲ノ平・高天原 記録 その3 (双六～鏡平～新穂高)

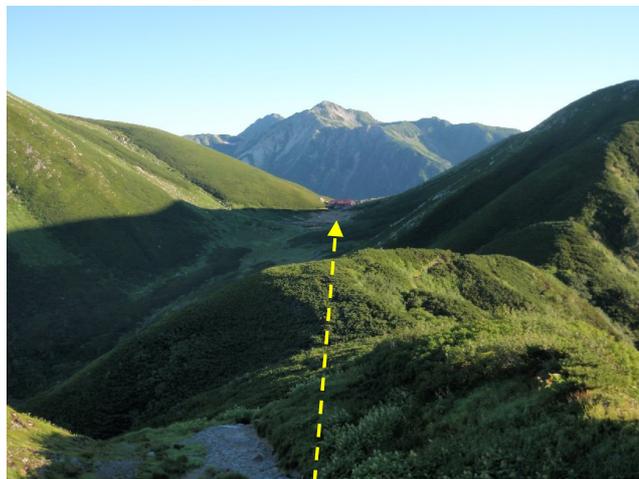
藤原 義弘

[5日目] 8/23 最終日

黎明 表銀座の山々 5:40 出発



弓折岳への途中で振り返って。鷲羽岳が立派



双六小屋、幕営地

稜線に飛び出したとたん、槍・穂のパノラマが広がる。ハッと息をのむ瞬間。



焼岳、乗鞍岳、御嶽山を望む



弓折乗越にて。下山開始



鏡平



槍とナナカマド



鏡平山荘 8:15



名物のかき氷でホッと一息



鏡池と槍・穂

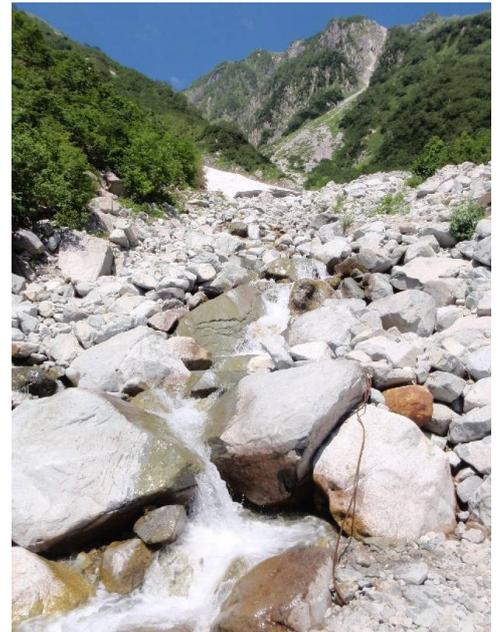


弓折乗越から新穂高温泉まで標高差 1,400mの長い下り



冷たく、清冽な水で  
ほてった身体を冷やす

秩父沢



小池新道入口 下ってきた山を振り返って



12:40 わさび平小屋



冷えたトマト、うまい！



長い林道歩きの後  
13:20 新穂高温泉バスミナル着



単独行は万一のことを考えるとお勧めしないが、単独だからこそ山の生命・息吹をより強く感じられるような気がする。歩行やルート読みもより真剣になる。それに人との出会い。テン場で隣り合わせになった九州から来た大学山岳部 OB 夫婦、ライト・アンド・ファースト志向の単独行の青年（立山から穂高まで装備は10日間でたったの13Kg。こちらは5日間で20Kg）、単独行の若い女性、高天原で一緒に温泉に入った元浜松労山の会長・・・いろいろな人との出会いと交流が刺激になり、この山行を近年にない一層印象深いものにしてくれた。ともかくも無事に下山できて感謝！

